

日本育種学会 第103回講演会プログラム

2003年春 千葉大学

大会本部 (Tel 043-285-2552: 期間中のみ)

4月1日	午後	幹事会 (総合校舎A号棟大会議室) 14:00 - 18:00					
		第1会場 教育学部 2111教室	第2会場 教育学部 2112教室	第3会場 総合校舎 F10教室	第4会場 総合校舎 F20教室	第5会場 総合校舎 F31教室	第6会場 総合校舎 F21教室
4月2日	午前	遺伝子・蛋白質	変異解析	発育生理	抵抗性 品質成分	遺伝資源 系統分化	増殖
		101-115 9:30-12:30	201-215 9:30-12:30	301-315 9:30-12:30	501-515 9:30-12:30	401-415 9:30-12:30	601-610 9:30-11:30
	午後	総会・受賞講演 13:30~17:30 (けやき会館大ホール)					
		懇親会18:00~20:00 (生協第一食堂)					
4月3日	午前	遺伝子・蛋白質	ゲノム解析	発育生理	抵抗性 品質成分	遺伝資源 系統分化	変異創成
		116-131 9:00-12:12	216-231 9:00-12:12	316-331 9:00-12:12	516-531 9:00-12:12	416-431 9:00-12:12	616-631 9:00-12:12
	午後	遺伝子・蛋白質	ゲノム解析	発育生理	育種情報 品種育成	遺伝資源 系統分化	変異創成
		132-150 13:00-16:48	232-250 13:00-16:48	332-349 13:00-16:36	532-550 13:00-16:48	432-450 13:00-16:48	632-650 13:00-16:48
		グループ研究集会 17:00~19:00					

4月1日	幹事会 (総合校舎A号棟 大会議室)
14:00 ↓	
18:00	

1日目(4月2日) 午前			
4月2日	第1会場 (教育学部 2111 教室)	第2会場 (教育学部 2112 教室)	第3会場 (総合校舎 F10 教室)
	◆座長 中国幹生 (東大農学生命)	◆座長 赤木宏守 (秋田県大生物資源)	◆座長 佐々英徳 (横浜市大木原生研)
9:30	101 ○竹原小百合1、上田悠加1、小川雅広1、佐藤美緒2、熊丸敏博2、佐藤光2 (1. 山口県大生活科学、2. 九大院農) イネ科種子に存在するプロテインジスルフィドイソメラーゼの多様性	201 ○山下陽子1・福山利範1(1. 新潟大農) オオムギ雲形病の多菌系抵抗性品種「T008」の遺伝子分析	301 ○カ石和英・松浦恭和・前川雅彦・野田和彦 (岡山大資生研) 種子休眠性が低下したコムギ突然変異体の解析
9:42	102 ○星野美樹、長澤和永、笹原健夫、阿部利徳 (山形大農) イネ未熟胚乳中で比較的多量に発現しているタンパク質・酵素のプロテオーム解析	202 藤野賢治 (北海道グリーンバイオ研) 北限地域適応イネにおける出穂日の遺伝変異	302 ○蝶野真喜子、中村信吾、松中仁、金子成延、渡邊好昭 (作物研) 小麦栽培品種の種子発芽に対するアブジジン酸の抑制効果
9:54	103 ○吉岡宏幸1・大本剛1・宇理須厚雄2・Y. Mine3・足立泰二1 (1. 大阪府大農学生命、2. 藤田保衛大、3. ゲルフ大食品科学) 普通ソバ自殖性系統における主要アレルゲンタンパク質のエピトープ解析	203 ○中村和弘1・伊藤誠治2・八田浩一3・伊藤美環子1・伊藤裕之1・吉川 亮1 (1. 東北農研、2. 中央農研、3. 九州沖縄農研) コムギ短稈・高蛋白質突然変異系統「盛系B-M9011」の遺伝子分析	303 ○谷尾昌彦・田村泰章・松岡誠 (国際農研沖縄) 亜熱帯気候における小麦の出穂早晩性の遺伝的要因
10:06	104 ○高岡素子1・N. Islam2・S. H. Woo2・近藤康人3・宇理須厚雄3・足立泰二4・平野久2 (1. 鎌倉女子大、2. 横浜市大木原生研/院総合理、3. 藤田保衛大、4. 大阪府大院農学生命) ホモスタイル型自殖性普通そばの二次元電気泳動によるアレルゲンタンパク質の同定	204 高牟禮逸朗 (北大院農) 水稲品種「キタアケ」から誘発した2重外穎突然変異体の遺伝子分析	304 ○堀井学・丸橋亘 (茨城大農) アサガオ (<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth) の胚乳におけるプログラム細胞死
10:18	105 高橋 美穂1、日影 孝志1.2、山下 哲郎1、遠藤 元庸1、○堤 賢一1 (1. 岩手大農、2. 安代町花き開発セ) リンドウの越冬芽で特異的に発現するタンパク質の解析	205 ○牛島智一・熊丸敏博・佐藤光 (九大農) イネの低システインプロラムミンの遺伝学的解析	305 ○川勝泰二・伊藤純一・長戸康郎 (東大農学生命科学) イネの葉間期を短くするplastochron変異体の解析
	◆座長 阿部 利徳 (山形大農)	◆座長 高牟禮逸朗 (北大院農)	◆座長 丸橋 亘 (茨城大農)
10:30	106 ○土屋徳司1・竹澤利和2・亀谷七七子1・神崎洋之2・中村郁郎1 (1. 千葉大院自然科学、2. 岩手生工研) イネの <i>gstZ</i> 遺伝子の構造解析	206 ○林 武司・粟田 崇(生物研) マルコフ連鎖モンテカルロ法を用いた他殖性集団におけるQTL解析	306 ○丸尾嘉宏1・北野英己2・長戸康郎1 (1. 東大農学生命科学、2. 名大生命農学) 野生型イネにおける胚の発生staging
10:42	107 小西良司1・○奥ゆかり1・入江俊一1・奥本裕2・長谷川博1 (1. 滋賀県大環境、2. 京大院農) イネのセシウム抵抗性突然変異体における <i>eIF-5A</i> (翻訳開始因子) 遺伝子の3'-UTRの解析	207 ○Ferdous, S. A.1, M. Kamiya2, K. Harada1. (1. Grad. Sch. Sci. Technol., Chiba Univ., 2. Hokkaido Cent. Agr. Exp. Stn.) Analysis of soybean cyst nematode resistance genes using recombinant inbred lines in soybean.	307 ○伊藤純一・長戸康郎 (東大農学生命科学) 野生型イネにおける葉の発生staging
10:54	108 ○草野博彰1,2、浅野敬幸1、島田浩章2、門脇光一1 (1. 生物研、2. 東京理科大 生物工) 師部から単離された遺伝子の解析	208 ○野々上慈徳1・藤野賢治2・山内歌子1・矢野昌裕3 (1. 農林水産先端研、2. 北海道グリーンバイオ、3. 生物研) 水稲品種「はやまさり」の極早生性に関与する遺伝子	308 ○池田恭子・春原英彦・長戸康郎 (東大農学生命科学) 野生型イネにおける穂/花の発生staging
11:06	109 ○砂山陽亮、伊藤紀子、井上栄一、安西弘行 (茨城大遺伝子) ヤーコン (<i>Smallanthus sonchifolius</i>) からのフラクトオリゴ糖生成遺伝子の単離	209 ○高橋秀和1・橋本知栄1・赤木宏守1・森宏一1・武田和義2 (1. 秋田県大生物資源、2. 岡大資生研) オオムギ5H染色体長腕末端部におけるPCRマーカーの作成	309 ○山木辰一郎・長戸康郎 (東大農学生命科学) 野生型イネにおける胚珠の発生staging
11:18	110 ○中国幹生1、F. Qiu2、L. A. Borsuk2、P. S. Schnable2 (1. 東大農学生命科学、2. アイオワ州大) Laser Capture Microdissection (LCM) / cDNA microarrayによる表皮もしくは維管束で発現するトウモロコシ遺伝子の同定	210 ○木原 誠1・岡田吉弘1・斉藤 涉1・河田尚之2・金子隆史1・朝倉隆司1・伊藤一敏1 (1. サッポロビール植工研、2. 作物研) オオムギプロテアーゼに関する育種的研究4. 5H染色体長腕部のQTL領域が麦芽品質と麦芽中プロテアーゼ活性に及ぼす影響	310 ○伊藤勇樹1・佐野芳雄2 (1. 北海道農研、2. 北大院農) 735日間にわたるイネの発育の長期連日観察ー(1) 感光性遺伝子は長日下で出穂を抑制するか？

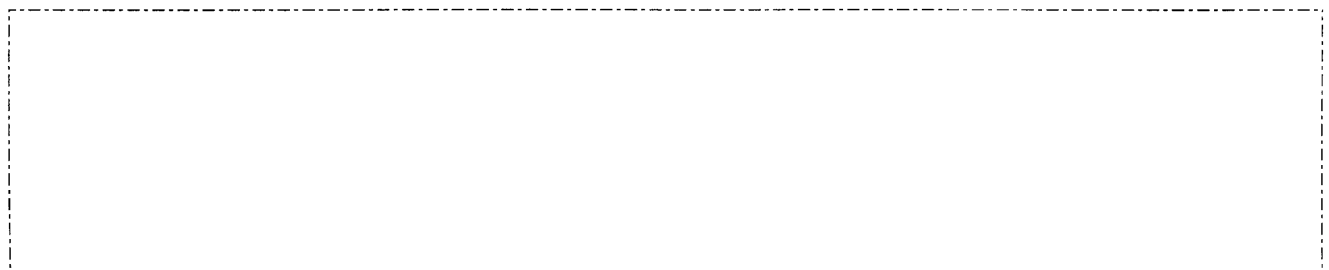
1日目(4月2日) 午前			
第4会場(総合校舎 F20 教室)	第5会場(総合校舎 F31 教室)	第6会場(総合校舎 F21 教室)	4月2日
<p>◆座長 中村俊樹(東北農研)</p> <p>401 ○田中裕子・M. H. M. Wickramasinghe・三浦秀穂(帯広畜大) 遺伝背景を異にするモチコムギのデンブンと小麦粉の糊化特性</p> <p>402 ○藤井 潔、辻 孝子、吉田朋史、深谷勝正(愛知農総試) 近年育成された小麦品種・育成系統のでんぷん糊化特性</p> <p>403 ○高橋浩司1・羽鹿牧太1・戸田恭子1・河野雄飛2・喜多村啓介1 (1. 作物研、2. 東北農研) ダイズ子実の成分変動および種皮が豆腐加工適性に及ぼす影響</p> <p>404 滝田 正(作物研) イネにおける粒長または粒幅の差異が収量と品質に及ぼす影響</p> <p>405 ○犬飼 剛1・平山裕治2 (1. 北大院農、2. 道立中央農試) 高温登熟下で生じるジャポニカ型ウルチ品種の粒重低下に関する遺伝要因(予報)</p>	<p>◆座長 坂 智広(国際農研)</p> <p>501 ○上野まりこ・大西近江(京大院農) 紫蘇・エゴマの起原地についてのAFLP解析</p> <p>502 ○Sukhotu, T.・K. Hosaka (Exp. Farm, Kobe U.) Re-evaluation of chloroplast DNA variation in the most primitive cultivated potato species <i>Solanum stenotomum</i> and its putative wild ancestral species using high-resolution markers</p> <p>503 ○Zong, X.X.1,2・伊勢村武久1・加賀秋人1・O.K. Han1・X.W. Wang1・友岡憲彦1・D.A. Vaughan1 (1. 生物研、2. 中国遺伝資源センター) アジアにおけるアズキ栽培種-野生種複合の遺伝的多様性</p> <p>504 ○加賀秋人・X. W. Wang・O. K. Han・G. J. Miranda・柏葉晃一・友岡憲彦・D. A. Vaughan(生物研) SSRマーカーを用いたアズキ栽培-雑草-野生種複合の解析、2. 栽培種から自生集団への遺伝子浸透</p> <p>505 ○大西成人、水見英子、野田和彦(岡山大資生研) コムギ祖先種におけるDFR 遺伝子の比較構造解析</p>	<p>◆座長 中野 優(新潟大農)</p> <p>601 ○鈴木一典1・高津康正1・西宮智美1・郷内武1・丸橋亘2・霞正一1 (1. 茨城生工研 2. 茨城大農) グラジオラス野生種のカルスからの植物体再生と倍数体の作出</p> <p>602 ○神戸敏成1・奥隆善2・三位正洋2 (1. 富山県中央植物園、2. 千葉大園芸) 3倍体センノウ(<i>Lychnis senno Siebold et Zucc.</i>)の増殖と増殖個体の特性</p> <p>603 ○Shrestha, B.R.1・三位正洋2 (1. 千葉大院自然科学、2. 千葉大園芸) コチョウランのプロトプラスト培養と再分化</p> <p>604 若本 嗣(大阪食とみどり技セ) ソマクローナル変異を利用したフキの育種 2. 頭花培養を利用した優良系統の選抜</p> <p>605 ○柳野利哉1,2・渡辺正夫2・高畑義人2 (1. 青森県畑園試、2. 岩手大農) ニンニク染色体数変異体の作出と特性</p>	
<p>◆座長 滝田 正(作物研)</p> <p>406 ○大坪研一・中村澄子・岡留博司・今村太郎・與座宏一(食総研) PCR法による米のDNA品種判別及びそのDNA食味推定への試み</p> <p>407 ○山口琢也1、大坪研一2、中村澄子2、山本良孝1(1. 富山県農技セ、2. 食総研) DNA判別を利用した良食味系統選抜法</p> <p>408 ○石川吾郎・齋藤美香・中村俊樹(東北農研) コムギにおけるWx-B1 欠失変異とその近傍マーカーとの関係</p> <p>409 ○塔野岡卓司・藤田雅也・河田尚之(作物研) 胚乳澱粉に関する変異遺伝子が精麦品質に及ぼす影響</p> <p>410 ○Liu S. S.1, Y. Hirata1, V. C. Thanh.1,2, T. Horiuchi1, K. Ohta1 (1. Grad. Sch. Agr., Tokyo U. Agr. and Tech., 2. Fac. Agr., Canto. U.) Characterization of 7S β-subunit deficient lines in soybean</p>	<p>◆座長 加藤淳太郎(愛教大生物)</p> <p>506 ○一谷勝之1・福永健二2,3・下東正和1・田浦悟4・佐藤宗治1(1. 鹿児島大農、2. 京大農、3. 現: レンヌ大、4. 鹿児島大生科研) rDNAスペーサーのPCR-RFLPによるアワ品種の分類</p> <p>507 八城和敏1・岩田洋佳2・明石由香利3,5・富田健夫1・葛谷真輝1・津村義彦4・加藤謙司5 (1. 茨城生工研、2. 中央農研、3. (株)三共種子、4. 森林総研、5. 岡山大農) 東・南アジアのメロン遺伝資源におけるAFLP多型と遺伝的関係の解析</p> <p>508 Wahyuni, S.1,2, D. H. Xu1, N. Bermawie2, N. Yamanaka1, H. ○Tsunematsu1, T. Ban1 (1. JIRACS, 2. Indonesian Spice and Med. Crops Res. Ins.) Genetic diversity of Indonesian ginger (<i>Zingiber officinale</i> Roscoe) by using AFLP markers</p> <p>509 ○山中直樹1・佐藤宏行1,2・楊振宇1,3・許東河1・足立大山1・坂智広1(1. 国際農研、2. 千葉大、3. 吉林農科院大豆研) SSRマーカーを利用した中国東北部大豆遺伝資源の多様性評価</p> <p>510 Hasran, M.1,2・○N. Yamanaka1・D. H. Xu1・H. Tsunematsu1・T. Ban1 (1. JIRCUS, 2. MARDI) Genetic relationship of <i>Mangifera</i> accessions revealed by AFLP analysis</p>	<p>◆座長 金子幸雄(宇大農)</p> <p>606 ○矢頭治・青木秀之・重宗明子(中央農研・北陸研究センター) 国内イネ品種の自然交雑率の推定</p> <p>607 小沼明弘1・堀崎敦史・田中紀史・新倉聡2 (1. 新潟大院自然科学、2. (株) トーホク) アブラナ科野菜F1採種における応用生態学的研究. I. F1 純度の不安定性</p> <p>608 ○堀崎敦史・田中紀史・新倉聡((株) トーホク) 虫媒受粉により評価したアブラナ科野菜自家不和合性程度の遺伝解析</p> <p>609 ○松尾和人・芝池博幸・川島茂人・岡 三徳(農環研) トウモロコシ花粉の飛散特性とキセニアを用いて推定した交雑率との関係</p> <p>610 ○上杉伸一1、松尾和人2、川島茂人2、三浦養徳1、伴 義之1、岡 三徳2 (1. 種苗管理センター、2. 農環研) トウモロコシ花粉の長距離飛散と交雑に関する研究</p>	

1日目(4月2日) 午前			
4月2日	第1会場(教育学部 2111 教室)	第2会場(教育学部 2112 教室)	第3会場(総合校舎 F10 教室)
	◆座長 安西弘行(茨城大農)	◆座長 熊丸敏博(九大農)	◆座長 伊藤純一(東大農学生命科学)
11:30	111 ○重宗明子 ¹ ・青木秀之 ¹ ・梁正偉 ^{1,2} ・田村泰章 ^{1,3} ・宮尾安藝雄 ⁴ ・廣近洋彦 ⁴ ・矢頭治 ¹ (1. 中央農研北陸, 2. 中国東北地理農業生態研, 3. 国際農研沖縄, 4. 生物研) Tos17ミュータントパネルを用いて単離したイネの玄米形成関連遺伝子	211 小原隆由 ¹ ・若生志幸 ^{1,2} ・塚崎光 ¹ ・布目司 ¹ ・小島昭夫 ¹ (1. 野菜茶研・2. 現技会事務局) ネギのAFLPマーカー連鎖地図の作製	311 ○小笠原陽子 ¹ ・藤村達人 ² (1. 筑大バイオシステム, 2. 筑大農工系) イネの花粉寿命および花器形態に関する研究
11:42	112 ○山平論 ¹ ・中崎鉄也 ¹ ・奥本裕 ¹ ・堀端章 ² ・谷坂隆俊 ¹ (1. 京大院農, 2. 近大生物理工) 易変性細粒突然変異系統IM294におけるmPingの切出しに関する挿入サイトの効果	212 ○Amr, F. A.・小山幸久 ¹ ・穴戸理恵子 ¹ ・野村和成 ¹ ・池橋宏(日本大生物資源) SSRマーカーによるイネ日印雑種におけるヘテロシス関連遺伝子座の探索 1. 方法および幼苗形質その他について	312 ○西本大祐 ¹ ・小出陽平 ¹ ・大西一光 ¹ ・長野宏則 ¹ ・貴島祐治 ¹ ・佐野芳雄(北大院農) イネ種間雑種不稔遺伝子S1座における対立遺伝子の分布と近傍領域の分子的解析
11:54	113 ○堀端章 ¹ ・中崎鉄也 ² ・奥本裕 ² ・谷坂隆俊 ² (1. 近大生物理工 2. 京大院農) 異なる遺伝子座に挿入されているトランスポゾンmPingの培養細胞における転移	213 ○Barlaan, E.A.1, 佐藤宏之 ² , 平林秀介 ² , 池田良一 ³ , 井辺時雄 ² (1. 長崎県産業振興財団, 2. 作物研, 3. 国際農研) 熱帯日本型およびインド型イネ間の交配に由来する組換え型自殖系統群における耐倒伏性のQTL解析	313 ○牛島幸一郎 ¹ ・佐々英徳 ² ・山根久代 ¹ ・田尾龍太郎 ¹ ・平野久 ² (1. 京大院農, 2. 横浜市大木原生研/院総合理) バラ科植物のS遺伝子座領域の分子的解析 X:アーモンドS遺伝子座の構造的特徴
12:06	114 ○平野博之 ¹ , 和田正三 ^{2,3} , 菊池一浩 ³ (1. 東大農学生命科学, 2. 都立大・院理, 3. 基生研) mPingの植物体における可動性	214 ○平尾健二 ¹ ・奥村麗 ² ・土井一行 ² ・常松浩史 ^{3,4} ・吉村淳 ² (1. 福岡教育大, 2. 九大院農, 3. 国際農研, 4. WARDA) <i>Oryza glaberrima</i> 染色体置換系統群利用によるイネの分けつ能のQTL解析	314 ○佐藤豊 ¹ ・藤本龍 ¹ ・鳥山欽哉 ¹ ・西尾剛(東北大院農学) <i>Brassica oleracea</i> と <i>B. rapa</i> のSハプロタイプが有する自己認識特異性の共通性
12:18	115 ○菊池一浩 ¹ , 和田正三 ^{1,2} , 平野博之 ³ (1. 基生研, 2. 都立大・院理, 3. 東大農学生命科学) PingはMITE型トランスポゾンmPingの転移を制御する	215 ○常松浩史 ^{1,2} ・平尾健二 ³ ・土井一行 ⁴ ・武藤元氣 ³ ・高木洋子 ¹ ・吉村淳 ⁴ (1. 国際農研, 2. WARDA, 3. 福岡教育大, 4. 九大院農) <i>Oryza glaberrima</i> 染色体置換系統群利用によるイネの蒸散関連形質のQTL解析	315 ○岡本俊介 ¹ ・西尾剛(東北大院農) 自家不和合性遺伝子SRK, SPI1のRaphanus属とBrassica属の同源性

4月2日		けやき会館 大ホール
13:30	総会・受賞講演 学会賞 ★長戸康郎(東大農学生命), 佐藤 光(九大院農学), 北野英己(名大生命農学) 「イネ発育過程の遺伝的解剖学的研究」 ★カンキツ品種「清見」の育成グループ(代表者 吉田俊雄) 「高品質・単胚性カンキツ品種「清見」の育成」 (特別賞) ★イネゲノム塩基配列・遺伝情報の高精度解読チーム(代表者 佐々木卓治) 「イネゲノム塩基配列・遺伝情報の高精度解読」 奨励賞 ★草場 信(生物研) 「自家不和合性遺伝子の変異に関する分子育種学的研究」 ★武田 真(香川大農) 「コムギとオオムギの属間交雑およびオオムギ属の系統分化に関する細胞育種学的研究」	
18:00	懇親会(生協第一食堂)	

2日目(4月3日) 午前			
4月3日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 向井廣己(大阪教育大)	◆座長 藤田淳史(北海道グリーンハイ)	◆座長 武田 真(香川大農)
9:00	116 ○伊敷弘俊 ¹ , Y. Liu ² (1. 国際農研七・沖縄, 2. Chinese Acad. Agri. Sci.) RT-PCRを用いたディフェレンシャルディスプレイ法によるサツマイモのアントシアニン合成関連遺伝子断片の選抜	216 ○野元 悠太 ¹ ・久保 友彦 ¹ ・三上 哲夫(北大院農学) テンサイミトコンドリアorf518の発現解析	316 堀内優貴 ¹ ・石郷岡典子 ¹ ・高木恭子 ¹ ・大西一光 ¹ ・長野宏則 ¹ ・貴島祐治 ¹ ・佐野芳雄(北大院農) MITEマーカーを利用したイネ第7染色体における遺伝解析
9:12	117 ○水見英子 ¹ ・野田和彦(岡山大学資生研) コムギR 遺伝子と推定されるTamyb10 遺伝子の構造と発現	217 ○梅田哲也 ¹ ・山岸博 ¹ ・寺地徹(京産大工) ダイコンのオグラ型細胞質雄性不稔に対するハマダイコン稔性回復遺伝子の分子遺伝学的研究	317 ○Hagiwara, W.E., K. Onishi and Y. Sano (Grad. Sch. Agr. Hokkaido U.) Cryptic variations detected on the short arm of chromosome 6 by means of QTL analysis using Near Isogenic RILs in rice
9:24	118 ○馬場利邦 ¹ ・水見英子 ¹ ・村田容常 ² ・野田和彦 ¹ (1. 岡山大資生研, 2. お茶大院人間文化) 胚乳におけるフラボノイド合成系遺伝子の発現とコムギポリフェノールオキシダーゼ(PPO)の単離	218 半田裕一(生物研) ナタネミトコンドリアゲノムの全構造決定とシロイヌナズナとの比較解析	318 ○松原一樹 ¹ ・佐々木敦司 ¹ ・萩原W.英悟 ¹ ・佐野芳雄(北大院農) 時期特異的発現をもつイネ感光性遺伝子(sepat)の同源性検定と微細マッピング
9:36	119 ○井川智子 ¹ ・福田徹子 ¹ ・木村真 ¹ ・山口勇(理研PSC) コムギキシラナーゼインヒビタータンパク質(TAXI)をコードする遺伝子の単離及び機能解析	219 ○栗原志保 ¹ ・松葉修一 ¹ ・半田裕一(北海道農研・1. 現生物研) 低温環境のコムギとイネにおけるミトコンドリアcox2 遺伝子の発現解析	319 堀端章 ¹ ・谷口綾乃 ¹ ・中崎鉄也 ² ・奥本裕 ² ・谷坂隆俊 ² (1. 近大生物理工 2. 京大院農) イネのslg ホモ型系統にみられる発芽率の低下および幼苗枯死の原因

1日目(4月2日) 午前			
第4会場(総合校舎 F20 教室)	第5会場(総合校舎 F31 教室)	第6会場(総合校舎 F21 教室)	4月2日
<p>◆座長 平井正志(京府大院農)</p> <p>411 ○藤田大輔・土井一行・吉村淳・安井秀(九大院農) <i>Oryza rufipogon</i> 染色体断片導入イネを用いたツマグロヨコバイ抵抗性遺伝子のマッピング</p> <p>412 ○川田元滋1,2・中島敏彦1・森浩一1・山元剛1・吉田均1・黒田映1 (1.中央農研, 2.新潟大院自然科学) ディフェンシン遺伝子導入組換えイネ系統の、各種病原菌に対する抵抗性評価</p> <p>413 ○杉浦和彦1・坂 紀邦1・寺島竹彦1・遠藤征馬2・工藤 悟1 (1.愛知農総試山間, 2.愛知西三河農林水産事務所) 雲南由来日本型イネ系統「中部111号」のいもち病圃場抵抗性について</p> <p>414 ○叢花1,2・助川久美子1・L. Gilchrist3・坂智広1 (1.国際農研, 2.中国新疆ウイグル自治区農科院, 3. CIMMYT) SSRマーカーを用いたコムギ赤かび病抵抗性母本の蘇麦3号とFrontanaにおける品種内変異</p> <p>415 ○竹久妃奈子1・和久井喜人2・亀谷壽昭1・佐藤雅志1 (1.東北大院生命科学, 2.産技総研) 塩水付加水田におけるイネ葉身のBronzing発生に関わるQTL解析</p>	<p>◆座長 加賀秋人(国際農研)</p> <p>511 ○笹沼恒男1, 笹隈哲夫1, D. Sehgal2, S. N. Raina2 (1.横浜市立大木原生研, 2.テリー大植物) SACPD 遺伝子の塩基配列に基づくベニバナ近縁野生種の系統解析</p> <p>512 ○太田智1, 林建樹2, 山本俊哉2, 勝木俊雄3, 佐藤洋一郎1 (1.静大農, 2.果樹研, 3.森林総研多摩) サクラ亜属におけるSSR領域の多型</p> <p>513 ○林 麻衣1・加藤淳太郎1・三柴啓一郎2・高橋弘子3・中村郁郎3・三位正洋3 (1.愛知教育大生物, 2.岩手生工研, 3.千葉大園芸) <i>Primula</i> 属 <i>Reinii</i> 節3種, 3変種における相対的核DNA含量とPS-ID配列の違い</p> <p>514 林 麻衣1・○加藤淳太郎1・三柴啓一郎2・高橋弘子3・中村郁郎3・三位正洋3 (1.愛知教育大生物, 2.岩手生工研, 3.千葉大園芸) <i>Primula tosaensis</i> (イワザクラ) とその変種における相対的核DNA含量とPS-ID配列の違い</p> <p>515 ○藤松 敦1・加藤淳太郎1・大橋広明2・三位正洋3 (1.愛知教育大生物, 2.岩手生工研, 3.千葉大園芸) <i>Primula cortusoides</i> と <i>P. kisoana</i> の亜節間交配で見出された高交雑親和性</p>	<p>◆座長 新倉 聡(トーホク)</p> <p>611 ○伊藤裕章1・露木美英1・稲津厚生1・武田元吉1・三位正洋2 (1.玉川大院農, 2.千葉大園芸) チョコレートコスモスとキバナコスモスの種間雑種F1の形質からみたチョコレートコスモスのヘテロ性</p> <p>612 ○佐竹絵美1・金子良平1,2・房 相佑1・金子幸雄1・松澤康男1 (1.宇大農, 2.現タキイ種苗(株)) <i>Moricandia arvensis</i> 二染色体添加型 <i>Brassica oleracea</i> の育成と維持</p> <p>613 ○佐藤宏介・金子幸雄・房 相佑・松澤康男(宇大農) <i>Brassica rapa</i> と <i>Brassica oleracea</i> の2組の同祖染色体</p> <p>614 ○須永亜矢子1・高木千明2・藤岡隆司2・金子幸雄1・房 相佑1・松澤康男1 (1.宇大農, 2.(株)みかど種苗) <i>Raphanus sativus-Brassica oleracea</i> MAL (2n=19)のe染色体と <i>Brassica oleracea</i> 染色体地図との対応</p> <p>615 ○古賀重成1, 生井兵治2 (1.日本国際協力センター, 2.土浦市) ニンジン花傘への受粉様態の違いが受精・結実に及ぼす影響</p>	



2日目(4月3日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	4月3日
<p>◆座長 吉村 淳(九大院農)</p> <p>416 ○田口和憲・大湯直樹・田中征勝(北海道農研) F2集団を用いたテンサイ黒根病抵抗性の遺伝解析</p> <p>417 ○平井正志1・塚田元尚2・原田丈夫1・久保中央1・諏訪部圭太3・松元哲 (1.京府大院農, 2.長野野菜花き試, 3.野菜茶研) 飼料用カブMilan White (<i>Brassica rapa</i>) に由来する根こぶ病抵抗性遺伝子座の解析</p> <p>418 ○百瀬真幸1・工藤博司2・J. van der Knaap2 (1.麒麟麦酒醸造研, 2. Fides Gold Stock Breeding) キク白さび病抵抗性遺伝子に連鎖する分子マーカー</p> <p>419 ○堀清純・小林哲朗・佐藤和広・武田和義(岡大資生研) 二条オオムギ間の交雑に由来するRI集団における赤カビ病抵抗性のQTL解析</p>	<p>◆座長 友岡憲彦(生物研)</p> <p>516 大西近江(京大院農学) <i>レイシノガ イナ</i> (<i>Raphanus raphanistrum</i>) の野生集団における加07の異常など有害遺伝子の保有</p> <p>517 ○金 忠男1, J. Viruez2, R. Guzman2, R. Taboada2 (1.国際協力事業団帰国専門家, 2.サツウ農熱帯農研) ポリヴィアにおけるイネ品種のフェノール反応試験</p> <p>518 ○大田正次・藤田裕子(福井県大生物資源) コムギ近縁野生種 <i>Aegilops neglecta</i> 四倍体における穂の形態の変異と地理的分布</p> <p>519 服部美由紀・○坂口梓織・大田正次(福井県大生物資源) 岐阜大学西地中海地域学術調査隊により採集され <i>Aegilops neglecta</i> と同定されたモロッコ産四倍体とUUMMGゲノムを有する既存の <i>Aegilops</i> 属4種との穂の形態の比較</p>	<p>◆座長 藤 蘭荘(宮崎大遺伝子)</p> <p>616 ○坂 紀邦1・山本卓司2,3・杉山高世2・西尾和明2・工藤 悟1 (1.愛知農総試山間, 2.奈良農試, 3.奈良県中部農林事務所) 日本型イネの異形粒突然変異について</p> <p>617 ○辰巳真一、種坂英次、吉田元信(近畿大農) エノキタケ純白系品種に現れた褐色化変異株の生理的、及び遺伝的特性について</p> <p>618 ○出花幸之介1・永富成紀1・森下敏和1・山口博康1・宮城克浩2・田中淳3・鹿園直哉3・長谷純宏3 (1.生物研放育場, 2.沖縄農試, 3.原研高崎) サトウキビの多芽体へのガンマ線およびヘリウムイオンビームの照射による核DNA量の変動と体細胞突然変異の誘発</p> <p>619 ○岩井純夫1・中島純2・衛藤威臣1 (1.鹿大農, 2.鹿農農試) カルシウム過敏性ソラマメ変異体</p>	

2日目(4月3日) 午前

4月3日	第1会場(教育学部 2111 教室)	第2会場(教育学部 2112 教室)	第3会場(総合校舎 F10 教室)
	◆ 座長 伊敷弘俊(国際農研)	◆ 座長 半田裕一(生物研)	◆ 座長 奥本 裕(京大院農)
9:48	120 ○小森俊之・太田象三・村井宣彦・樋江井祐弘・新田直人(JT遺伝育種研、オリノバ、JT植物イノベーション) イネ稔性回復遺伝子 <i>Rf-1</i> を包含するゲノム断片の同定	220 ○片桐敏、呉健忠、唐沢涉、伊藤幸代、吉木昭二、金森裕之、並木信和、片寄裕一、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イゲム研究チーム) 日本型イネNipponbareの高精度塩基配列を利用したインド型イネKasalathの第1染色体物理地図の作成	320 鈴木伸洋・武田真一・井眞比古(香川大農) イネ無根毛遺伝子 <i>rth1</i> が養水分吸収に及ぼす影響
10:00	121 ○寿崎拓哉1, 佐藤真琴1, 高村篤志1, 芦刈基行2, 松岡信2, 永澤信洋1, 三好正浩3, 長戸康郎1, 平野博之1(1. 東大農学生命科学, 2. 名大生物分子応答センター, 3. 日本たばこ産業(株)) イネの花器官数を制御する <i>FLORAL ORGAN NUMBER1</i> 遺伝子の単離	221 ○藤澤雅樹・呉健忠・水野浩志・桐根美佳・佐治章子・林亜貴子・吉原里枝・伊藤和江・小林春美・片寄裕一・松本隆・佐々木卓治(生物研/STAFF・イゲム研究チーム) イネ染色体セントロメアおよび周辺領域の物理地図作製と構造解析	321 ○ファントム・武田真一・鶴見誠二・井眞比古1(1. 香川大農, 2. 神戸大, アイソトープ総セ)イネにおける2種のオ-キシン耐性遺伝子の相互作用ならびに側根形成に及ぼす影響
10:12	122 柴田葉子1・犬飼義明2・芦刈基行2・松岡信2・服部一三1・北野英己1(1. 名大生命農学, 2. 名大生物分子応答)イネ根欠損型突然変異体遺伝子 <i>cr11</i> の単離	222 ○山本麻裕、井戸沼淳子、増川正敏、B. A. Antonio、柴田未知恵、伊藤裕一、並木信和、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イゲム研究チーム) イネ第7染色体のゲノム構造とその特徴	322 ○Debi, B. R1, J. Mushika1, S. Taketa1, A. Miyao2, H. Hirochika2 and M. Ichii1 (Fac. Agr. Kagawa U., 2. Natl. Inst. Agrob. Res.) Isolation and characterization of a short lateral root mutant in rice (<i>Oryza sativa</i> L.)
10:24	123 都琴淑・中塚真衣・増田小百合・鈴木剛・向井康比己(大阪教育大) タマネギ <i>alliinase</i> 様遺伝子のゲノム構造解析. II. 発現と周辺配列	223 ○濱田昌雄、金森裕之、細川聡美、中村まり、山形晴美、脇下さおり、根岸真奈美、神谷梢、栗田加奈子、福中理絵、目黒文乃、阪口未雪、町田佳代、中間裕子、小野望、菊田有里、遠久美子、水林達美、備藤毅人、藤塚奈穂子、宋健瑜、山根弘子、宮内友子、伊藤幸恵、酒井久美子、並木信和、片寄裕一、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イゲム研究チーム) イネゲノム塩基配列解析の進捗状況	323 ○福山利範1・友部由美1・菊井和子1(1. 新潟大農) 品種およびアイソジニックラインによるオオムギ穂首維管束系の2・6条間比較
	◆ 座長 菊池一浩(養生研)	◆ 座長 寺地 徹(京産大工)	◆ 座長 福山利範(新潟大農)
10:36	124 ○山田仁美1・川頭信之1・永田俊文1・佐藤浩二1・河合純2・カルニンチ ピエロ2・林崎良英2・大友泰裕3・村上和雄3・松原謙一3・菊池尚志1(1. 農業生物研, 2. 理研, 3. 国際科学振興財団) イネ完全長cDNAデータから得られた <i>hpf1</i> がアブライジング候補遺伝子の生体内における発現	224 ○井上真以子1・高振生1・平田球子1・藤森雅博2・才宏偉1(1. 飼料作物研, 2. 畜草研) イタリアンライグラスのRFLP連鎖地図の作成及びイネ科植物とのシンテニー研究	324 ○中本有美1・山本直樹2・柴田大輔2,3・若狭暁1,4・石本政男1,5(1. CREST, 2. 東北大院理, 3. かざさ研, 4. 作物研, 5. 近中四農研) ダイズTACライブラリーの構築
10:48	125 ○田口文緒1・矢崎潤史1、石川雅弘1、藤井文子1、真保佳納子2、島谷善平2、長田夕子2、橋本晶子2、太田智弥1、佐藤友紀1、本多幸子1、山本公子2、坂田克己1、佐々木卓治1、岸本直己1、菊池尚志1(1. 生物研, 2. STAFF研) イネcDNAマイクロアレイを用いた培養特性QTLの候補遺伝子の探索	225 ○才 宏偉1・湯山奈々1・玉置宏之2・吉澤晃2(1. 飼料作物研, 2. 北見農試) SSRマーカーを用いたチモシー同祖群の検出	325 ○松平洋明・上田実・萩原栄輝・久保友彦・三上哲夫(北大院農) テンサイ稔性回復遺伝子 <i>RfX</i> の精密マッピング
11:00	126 ○吉田薫(東大農学生命科学) フィチン酸合成に関与するキナーゼ遺伝子群の発現解析	226 山口隆吉・笹沼恒男・渡辺直子・笹隈哲夫(横浜市大木原生研) コムギにおけるフィトクロム遺伝子のマッピングと系統解析	326 ○最相大輔1・丹野研一1・北野英己2・武田和義1(1. 岡大資生研, 2. 名大院生命農学) オオムギ半矮性遺伝子 <i>u1</i> の同定
11:12	127 ○永吉佳奈子・堤伸浩・吉田薫(東大農学生命科学) 糖とアブシジン酸により発現制御されるデンプン及びフィチン酸合成の鍵酵素	227 ○矢野健太郎1,3・三ツ井和2・山川武廣2・山崎由紀子2・佐藤和広3・武田和義3(1. CREST, 2. 遺伝研, 3. 岡大資生研) オオムギESTのイネゲノム上の相同性検索	327 蝶野真喜子1、○本多一郎2、銭谷晴子1、最相大輔3、武田和義3、渡邊好昭1(1. 作物研, 2. 野菜茶研, 3. 岡大資生研) ブラシノステロイド受容体遺伝子変異に由来する半矮性オオムギ <i>uzu</i> の解析
	◆ 座長 菊池尚志(生物研)	◆ 座長 笹隈哲夫(横浜市大木原生研)	◆ 座長 原田竹雄(弘前大農学生命)
11:24	128 ○辻寛之1・雑賀啓明1・堤伸浩1・平井篤志1,2・中園幹生1(1. 東大農学生命科学 2. 名城大学農)イネにおけるヒストン脱アセチル化酵素遺伝子の構造・発現解析	228 ○席田淳史1・小池倫也1・萩原保成2(1. 北海道グリーンイイ、2. 横浜市大木原生研) コムギSSRマーカーの開発 2. ESTを利用したSSRマーカーの作出	328 ○村田稔1,2・程治軍2(1. 岡山大資生研, 2. CREST/JST) コムギ染色体のセントロメアに局在する縦列型反復配列の起源
11:36	129 ○菅原正士・中園幹生・平野博之・堤伸浩(東大農学生命科学) イネ <i>OsNAC6</i> 遺伝子は様々なストレスによって誘導される。	229 ○許東河・佐藤麻矢・坂智広(国際農研) コムギESTマッピングに向けたDNAマーカーの開発	329 富田因則・田中恵里(鳥取大農) gypsy型レトロトランスポゾンLTRの両末端配列を持つライムギ挿入因子の変異
11:48	130 ○内宮博文1・林光紀1・塚塚修文2(1. 東大分生研, 2. 名古屋大情報文化) 代謝工学育種によるストレス耐性イネの作出	230 ○佐藤和広1・南角奈美1,2・矢野健太郎1,2・武田和義1(1. 岡山大資生研 2. CREST) オオムギESTマーカーの大規模開発	330 ○Rodriguez, B. E., Y. Kaneko, S. W. Bang and Y. Matsuzawa (Fac. Agri. Utsunomiya U.) Genetic variation of RAPD markers for Paraguayan cultivar's 'ALA-60'
12:00	131 ○芦荻基行・伊藤博紀・佐々木章江・上口(田中)美弥子・五味剣司・北野英己・松岡信(名大生物分子応答) イネ <i>gld2</i> 非感受性遺伝子 <i>gid2</i> の単離と機能解析	231 ○南角奈美1,2・佐藤和広1・矢野健太郎1,2・武田和義1(1. 岡大資生研, 2. CREST) PCR産物サイズによるオオムギESTのマッピング	331 ○船附稚子・高田兼則・加藤明・齊藤浩二・田引正・西尾善太・山内宏昭(北海道農研) 小麦粉生地物性に関連する低分子量グルテニン遺伝子に連鎖するDNAマーカー

2日目(4月3日) 午前			
第4会場(総合校舎 F20 教室)	第5会場(総合校舎 F31 教室)	第6会場(総合校舎 F21 教室)	4月3日
<p>◆座長 草場 信(生物研)</p> <p>420 ○穴戸利行1, 浅田正貴2, 廣瀬咲子3, 本橋強1, 駒嶺穆4 (1. 東農大農, 2. 横浜市大木原生研, 3. 生物研, 4. 進化生研) カタラーゼ遺伝子(<i>kat E</i> 遺伝子)導入による耐塩性インド型イネの作出</p> <p>421 ○長岡修一・高野哲夫(東大アジアセンター) アラビドプシス <i>STO</i> 遺伝子の機能とその制御下にある遺伝子</p> <p>422 吉村和馬1・柳登彦2・高野哲夫1 (1. 東大アジアセンター, 2. 中国東北林業大学) イネのアルカリ性土壌耐性機構に関する研究 VIII. 耐性に関与していると考えられている遺伝子の発現解析 II</p> <p>423 ○坂智広1・I. Elouafii2・深山優子1・平野僚子3・荻原保成3 (1. JIRCUS, 2. ICARDA, 3. 横浜市大・木原生研) 赤かび毒素に対するコムギの特異的発現遺伝子の探索</p>	<p>◆座長 大田正次(福井県大)</p> <p>520 ○友岡憲彦1・阿部健一2・M. S. Thein3, U. W. Twat3, 加賀秋人1・D. A. Vaughan1 (1. 生物研, 2. 民博, 3. ミャンマー・シド・バン) ミャンマーにおけるアズキ亜属野生種の多様性と地理的分布</p> <p>521 ○Bautista, N.1・S. P. Baral2・H. Kumari3・M. Jayasuriya4・加賀秋人1・友岡憲彦1・D. A. Vaughan1 (1. 生物研, 2. 中央農研センター, 3. スリランカ・ナショナル・リサーチ・センター, 4. スリランカ遺伝資源センター) 南アジアにおけるイネ属 <i>CCゲノム</i> 種自生集団間の多様性解析</p> <p>522 ○長谷川 聡1, 勝田真澄2 (1. 岩手県北農研, 2. 作物研) 岩手県在来の食用ヒエに見出された低アミロース系統の特性</p> <p>523 村松幹夫(岡山市) 日本産タケノコ類の遺伝育種学的研究. XVII. オロシマチク(メダケ属)とトウチクとのF1雑種について</p>	<p>◆座長 岩井純夫(鹿大農)</p> <p>620 ○手塚孝弘・丸橋匡(茨城大農) タバコ属種間雑種(<i>Nicotiana tabacum</i> × <i>N. suaveolens</i>)に認められたアポトーシス</p> <p>621 ○松本雄一・久保山勉1・岩科司2・丸橋匡1 (1. 茨城大農, 2. 国立科博・筑波実験植物園) イネ品種日本晴 × Jamaicaの組織培養による致死性の克服</p> <p>622 ○椎口勝弘1・張艶菊2・平田豊1 (1. 農工大院農, 2. 中国東北農大園芸) トウガラシ <i>Capsicum annuum</i> と <i>Capsicum baccatum</i> との接木変異 2. 接木後代の諸形質変異</p> <p>623 ○陳 蘭莊1・濱口卓郎1・岡部玲二1・片山哲郎1・寺尾寛行2・足立泰三3 (1. 宮崎大遺伝子, 2. 宮崎大農, 3. 大阪府大農学生命科学) 高効率な有性生殖及びアポキシス性ギニアグラスの形質転換体の作出</p>	9:48
<p>◆座長 高野哲夫(東大アジアセンター)</p> <p>424 ○松田靖・村田達郎・宮崎紀子・田中慎二・山本静香・古富史朗(九州東海大農) <i>Zoysia</i> 属植物における耐塩性と塩腺との関連性について</p> <p>425 ○宮原研三1・草場信1・高野敏弥1・黒田昌治2・西村実1 (1. 生物研, 2. 中央農研北陸) <i>LGC-1</i>, α-グロブリン欠失突然変異体およびそれらの二重突然変異体の特性解析</p> <p>426 ○鈴木保宏1・平野博之2・佐野芳雄3・松倉湖1・川崎信二4・蝶野真喜子1・中村信吾1・佐藤宏之1 (1. 作物研, 2. 東大農学生命科学, 3. 北大院農, 4. 生物研) 低アミロース品種"スノーパール"より単離したアミロース含量が増大したイネ変異体</p> <p>427 ○佐藤美緒1, 田懐東1, 竹本陽子1, 小川雅広2, 熊丸敏博1, 佐藤光1 (1. 九大農, 2. 山口県大生活科学) イネグルテリン変異体 <i>glup4</i> 及び <i>glup6</i> の特性解析</p>	<p>◆座長 河瀬真琴(中国四農研)</p> <p>524 ○岡部昭典1・楊春明2・楊光宇2・菊池彰夫1・猿田正恭1 (1. 近中四農研, 2. 中国吉林農科院大豆研) 中国東北部におけるダイズ遺伝資源の特性評価</p> <p>525 ○新田麻子・森田敦雄・佐京里美・赤澤經也・江頭宏昌(山形大農) 山形県庄内地方の在来エダマメの収集とRAPDマーカーによる分類の試み</p> <p>526 ○森田敦雄・新田麻子・佐京里美・券田昭一・赤澤經也・江頭宏昌(山形大農) RAPD分析によるダダチャ豆系統群と他の国内在来ダイズ品種との遺伝的類縁関係</p> <p>527 ○Thanh, V. C.1, 2, Y. Hirata1, S. S. Liu1, K. Ohtal (1. Grad. Sch. Agric., TUAT, 2. Cantho U.) Exploitation of soybean and the related wild genetic resources in Mekong Delta of Viet Nam</p>	<p>◆座長 山村三郎(岩手生工研)</p> <p>624 ○阿相幸恵1, 高橋恒太1, 渡辺史恵1, 本橋強1, 駒嶺穆2 (1. 東農大農, 2. 進化生研) 矮化遺伝子 <i>rolC</i> を導入した <i>Pelargonium</i> × <i>domesticum</i> "Fleecy Cloud" の形質転換個体における導入遺伝子の解析と形質評価</p> <p>625 ○藤本洋介・中川貴運・種坂英次・吉田元信(近畿大農) <i>シイタケ</i> <i>Lentinula edodes</i> 発現ベクターの構築とその発現系</p> <p>626 ○大谷基泰・濱田達朗・島田多喜子(石川農短農資研) GBSSI dsRNAによるアミロースフリーサツマイモの作出</p> <p>627 ○橋田慎之介・三上哲夫・貴島祐治(北大院農) 薬剤(5アザシチジン・エチオニン)による低メチル化誘導はTam3の転移を活性化しない</p>	10:36
<p>◆座長 高橋浩司(作物研)</p> <p>428 ○蔵之内利和・田宮誠司・中谷誠(作物研) サツマイモ苗の低温耐性検定法</p> <p>429 ○松葉修一・邑上豊隆・船附秀行・川口健太郎・佐藤裕(北海道農研) イネミュータントパネルを用いた穂ばらみ期耐冷性に関するスクロース合成酵素遺伝子の解析</p> <p>430 ○田澤暁子・手塚光明(道立遺伝資源セ) ダイズ茎疫病抵抗性と連鎖したDNAマーカーとその有効性</p> <p>431 ○猿田正恭・笹谷孝英・岡部昭典・菊池彰夫(近中四農研) ダイズ品種サチユタカに発生しているSMV系統とダイズ品種の反応</p>	<p>◆座長 江頭宏昌(山形大農)</p> <p>528 ○山本昭夫1, 長峰司2 (1. 農水省 政策研, 2. 生物研) 植物遺伝資源の利用から生ずる利益配分に関する世界の枠組</p> <p>529 ○入江 憲治1・Khin Aye2・長峰司3・藤巻宏1・菊池文雄1 (1. 東農大, 2. Seed Bank, Myanmar, 3. 生物研) ミャンマーにおけるイネ地方品種の出穂期の品種間変異</p> <p>530 ○新田みゆき1, 2, C. W. Kang 3, 安本知子4, D. J. Liu 5, 長峰司2, (1. 京大農, 2. 生物研, 3. 韓国農振庁作物試, 4. 作物研, 5. 中国南京農大) シソ属野生種は中国と韓国にも分布する</p> <p>531 ○河瀬真琴1・John Ba Maw2・福永健二3, 4・加藤謙司3 (1. 中四農研, 2. ミャンマー中央農研シド・バン, 3. 岡山農大, 4. 万那国立第一大(現所属)) ミャンマーおよび周辺地域におけるアワの遺伝的変異</p>	<p>◆座長 大谷基泰(石川農短農資研)</p> <p>628 ○塚谷延枝・西原昌宏・長坂静・三柴啓一郎・山村三郎((財)岩手生工研) 茎頂へのアグロバクテリウム直接感染によるスターチスの形質転換系確立</p> <p>629 三柴啓一郎1, 西原昌宏1, 中塚貴司1, 菊池亮子1, 横井崇秀2, 山村三郎1 (1. (財)岩手生工研, 2. (株)日立ワカイン) リンダウの形態形成関連遺伝子 <i>GtMADS4</i> を導入した形質転換植物の解析</p> <p>630 ○山村智通1・長谷川久和1・寺川輝彦1・若狭暁2 (1. 北興化学開発研, 2. 作物研) 改変 <i>ASAI</i> 遺伝子を利用したシクラメン形質転換法の確立</p> <p>631 ○掛田克行・浦林達夫・神山康夫(三重大・生物資源) <i>Agrobacterium</i> によるサツマイモ野生二倍体種の形質転換</p>	11:24
			11:36
			11:48
			12:00

2日目(4月3日) 午後

4月3日	第1会場(教育学部 2111 教室)	第2会場(教育学部 2112 教室)	第3会場(総合校舎 F10 教室)
	◆座長 石川隆二(弘前大農学生命)	◆座長 西尾 剛(東北大院農)	◆座長 辻本 壽(鳥取大農)
13:00	132 ○菅野 明1,2、佐伯裕史2、亀谷寿昭2、H. Saedler1、G. Theissen1 (1. Max-Planck-Inst. Zuecht. 2. 東北大生命科学) チューリップにおけるBクラス遺伝子の発現は改変ABCモデルをサポートする	232 ○荒木悦子・L. A. Ebron・P. R. Cuevas・J. M. Yanoria・G. S. Khush・J. E. Sheehy・福田善通 (IRRI) イネ品種合川1号の小分けつ性遺伝子の同定	332 ○矢野昌裕1・竹内善信2・姥谷志武1・佐藤宏之3・太田久穂3・平林秀介3・出田収3・根本博3・井辺時雄3 (1. 生物研、2. 農林水産先端研、3. 作物研) 水稻品種コシヒカリを遺伝的背景とした出穂期に関する準同質遺伝子系統群のマーカー選抜育種
13:12	133 ○築山拓司1、中崎鉄也1、寺地徹2、田中千尋1、三上文三1、奥本裕1、谷坂隆俊1 (1. 京大院農、2. 京産大工) イネPR-3キチナーゼアインザイムの抗菌活性および酵素活性の比較	233 ○赤木宏守1、御園祐美2、中村淳2、高橋秀和1、森宏一1 (1. 秋田県大、2. 三井化学) イネBT型細胞質雄性不稔を回復する稔性回復遺伝子(<i>Rf-1</i>)座の塩基配列の解析	333 ○加藤謙司1・石本慶一郎1・山下美穂1・藤田雅也2 (1. 岡山県大、2. 作物研) コムギの春播性遺伝子 <i>Vrn-A1</i> 、 <i>Vrn-B1</i> 、及び <i>Vrn-D1</i> に関する連鎖PCRマーカー
13:24	134 ○吉田 均1・永田雅靖2・齋藤浩二3・K. L.-C. Wang4・J. R. Ecker4 (1. 中央農研、2. 野茶研、3. 北海道農研、4. Salk Institute) ETO1はタイプ2 ACC合成酵素を阻害し、エチレン合成を抑制する	234 ○加藤 明・小松利光・齋藤浩二(北農研) 水稻耐冷性育種母本北海PL5の耐冷性遺伝子座の解析	334 ○児玉なつ美1、石井誠2、加藤謙司1、武田和義2 (1. 岡山県大、2. 岡大資生研) オオムギにおける春播性遺伝子 <i>sgH1</i> のマーカー選抜
13:36	135 ○伊藤美佳子、小池晶子、山口 タ、小泉望、佐野浩(奈良先端大・遺伝子教育研究センター) シロイヌナズナにおけるメチル化DNA結合タンパク質の解析	235 ○早野由里子1・藤井 潔2・杉浦直樹2・齋藤浩二1・林 長生3 (1. 北農研、2. 愛知県農総試、3. 生物研) 近交系を用いたイネ穂いもち圃場抵抗性遺伝子 <i>Pb1</i> の座領域の解析	335 ○加藤清明1、木藤新一郎2、荻原保成3、三浦秀穂1 (1. 帯畜大、2. 岩手大、3. 横浜市大) パンコムギの春化反応性遺伝子 <i>Vrn-A1</i> の準同質遺伝子系統間の発現遺伝子プロファイルの比較解析
	◆座長 千田峰夫(弘前大農学生命)	◆座長 福岡浩之(野菜茶研)	◆座長 加藤謙司(岡山県大)
13:48	136 ○西岡美樹・田村公司・林 正紀・原田久也(千葉大院自然科学) <i>Brassica rapa</i> におけるシロイヌナズナ開花期遺伝子ホモログの探索	236 ○吹野伸子、國久美由紀、松元 哲(野菜茶研) 'PMAR No.5' と '春系3号' との交雑により得られたメロン組換え型自殖系統の特性の解析	336 ○安野奈緒子・新道千加子・笹沼恒男・笹隈哲夫(横浜市大・木原生研) 二倍性コムギにおける春化処理応答遺伝子の発現解析
14:00	137 ○山本伸一・高橋裕治2・小島晶子2,3・山内歌子2・矢野昌裕1 (1. 生物研、2. 農林水産先端研、3. 現、中部大応用生物) イネ出穂促進遺伝子 <i>Hd3a</i> および <i>RFT1</i> の発現レベルと出穂期の早晩性の相関	237 ○西 晃生、田島智之、野口総一郎、根岸秀明(日本たばこ産業) タバコにおける立枯病抵抗性に連鎖した <i>CAPS</i> マーカーの開発	337 ○中村信吾1・蝶野真喜子1・金子成延1・笹隈哲夫2・渡邊好昭1 (1. 作物研、2. 横浜市大木原生研) 小麦完熟種子胚中の <i>PP2C</i> 遺伝子の解析
14:12	138 ○清水智章1・萩田浩子1・宅見薫雄2・荻原保成3・村井耕二1 (1. 福井県大生物資源、2. 神戸大農、3. 横浜市大木原生研) cDNAサブトラクション法による <i>pistillody</i> を誘発する細胞質置換コムギ系統の幼穂で特異的に発現する遺伝子の同定	238 ○松元哲・近藤正敏・藤村みゆき・諏訪部圭太・塚崎光・國久美由紀・吹野伸子(野菜研) ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座(<i>Crr1</i>)に連鎖する新たなDNAマーカーの開発	338 ○辻本壽1・岸井正浩2 (1. 鳥取大農、2. 横浜市大総理/木原生研) 倍数性コムギ同祖染色体対合抑制遺伝子 (<i>Ph</i>) の起源に関する仮説
14:24	139 ○平野僚子1・川浦香奈子1・持田恵一1・辻本敦美2・荻原保成1 (1. 横浜市大木原生研&院総理、2. DNAチップ研(株)) コムギのゲノム科学 XI cDNAマイクロアレイを用いたコムギ穎花分化期における遺伝子発現のモニタリング	239 ○濱田亜紀子1・高松光生2・矢ヶ崎和弘2・原田久也1 (1. 千葉大院自然科学、2. 長野県中農農試) ダイズモザイクウイルス抵抗性遺伝子に連鎖するDNAマーカー	339 ○雑賀啓明1、辻寛之1、松村英生2、高野哲夫3、堤伸浩1、中園幹生1 (1. 東大農学生命科学、2. 岩手生工研、3. 東大アジセンタ) イネにおけるエタノール発酵系と初期生育の関係
	◆座長 金澤 明(北大院農)	◆座長 齋藤浩二(北農研)	◆座長 野々村賢一(遺伝研)
14:36	140 ○三宅国彦1・伊藤卓朗1・千田峰生2・石川隆二1・原田竹雄1・新関稔1・赤田辰治2 (1. 弘大農学生命、2. 弘大遺伝子) マメ科植物における硝酸態窒素欠乏応答性 <i>MYB</i> 転写因子群とグルタミン合成酵素遺伝子との関連性	240 ○山下晃弘・高橋秀和・赤木宏守・森宏一(秋田県大生物資源) オオムギにおけるSNPマーカーの開発と非背地性遺伝子のマッピング	340 ○月森敦之・畑中一郎・井上雅好(京大院農) タバコ種間雑種 (<i>Nicotiana glauca</i> Domin × <i>N. tabacum</i> L.) の葉面クチクラ成分に含まれるモモアアブラムシ殺虫性物質
14:48	141 ○村上泰弘1,2・今泉(安楽)温子1,2・川口正代司3・川崎信二1 (1. 生物研、2. 生研機構、3. 新潟大) 根粒形成の最初期に関わる遺伝子 <i>LjSym70</i> 周辺のBAC contig 形成	241 ○持田恵一1・川浦香奈子1・山崎由紀子2・笹隈哲夫1・荻原保成1 (1. 横浜市大木原生研&院総理、2. 遺伝研) コムギのゲノム科学 XII. 倍数性コムギのSNPs解析: 2ゲノムからのみ発現する同祖遺伝子の解析	341 ○山口誠之・横上晴郁・片岡知守・中込弘二(東北農研) 有色米品種「朝紫」、「紅衣」の菌質作用とラットでの血糖値上昇抑制作用
15:00	142 ○福岡浩之1・高畑義人2・大山暁男1・布目 司1 (1. 野菜茶研、2. 岩手大農) アブラナ科植物の胚特異的プロモータ <i>P22a1</i> の構造および機能解析	242 ○荻原保成1・持田恵一1・川浦香奈子1・山崎由紀子2 (1. 横浜市大木原生研/総理、2. 遺伝研) コムギのゲノム科学 XIII. 光合成関連多重遺伝子族のSNPs解析	342 ○廣田直彦1・黒田久夫2・金子隆史1・金田弘拳2・高塩仁愛2・伊藤一敏1・武田和義3 (1. ユック・ビ'ル(株)植工研、2. ユック・ビ'ル(株)加ナイ7研、3. 岡山大資生研) オオムギ種子リボキシゲナーゼの研究. III. LOX-1欠失オオムギの解析
15:12	143 ○津和本 亮1、福岡浩之2、渡辺正夫1、高畑義人1 (1. 岩手大農、2. 野茶研) <i>Brassica napus</i> 小胞子からの胚形成過程における遺伝子の定量的発現解析	243 ○川浦香奈子1・持田恵一1・山崎由紀子2・荻原保成1 (1. 横浜市大木原生研/総理、2. 遺伝研) コムギのゲノム科学 XIV. 種子貯蔵タンパク質遺伝子のSNPs解析	343 ○Zhang W.S. 1,2, T. Kaneko 3, K. Takeda 1 (1. Res. Inst. Biores., Okayama U., 2. Shijiazhuang Inst. Agric. Mod., CAS, 3. Plant Bioeng. Res. Lab. Sapporo Brew. Ltd.) Comparison of β -amylase alleles between <i>Hordeum vulgare</i> ssp. <i>vulgare</i> and ssp. <i>spontaneum</i>

2日目(4月3日) 午後			
第4会場(総合校舎 F20 教室)	第5会場(総合校舎 F31 教室)	第6会場(総合校舎 F21 教室)	4月3日
<p>◆座長 塚崎 光(野菜茶試)</p> <p>432 ○佐藤洋一郎1・吉松敬祐2・岩瀬平2・森真也(1. 静岡大農、2. 山口イセヒカリ会) イネ品種イセヒカリから分離した異常分離個体とその系譜</p> <p>433 ○村井耕二1・池口正二郎2・石川直幸3(1. 福井県大生物資源、2. ホクレン農総研、3. 近中四農研) ハイブリッドコムギ作出のための実用的な日長感受性細胞質雄性不稔(PCMS)系統の育成に向けて</p> <p>434 ○中村 淳・行宗敬人・多田雄一・松村健史・佐野孝夫・坂井洋士・佐本四郎(三井化学㈱イカイイノ研) ハイブリッドライス系統「MH3001」の育成</p> <p>435 ○酒井隆子・木村雄輔・藤本英也・今井りつ子・肥塚信也・今村順((株)植工研) ナタネのF1種子採種系コセナシステムの開発</p>	<p>◆座長 長峰 可(生物研)</p> <p>532 ○中谷智恵1・江花薫子2・大澤良1(1. 筑波大農林、2. 生物研) 普通ソバ葉からの水抽出物がレタス実生に及ぼす生育抑制効果の品種間変異</p> <p>533 ○安部 匡1・南沢 究1・石井尊生2・東谷篤志1・佐藤雅志1(1. 東北大院生命科学、2. 神戸大農) 窒素固定バクテリアエンドファイト <i>Herbaspirillum</i> sp.B501の内生菌数にみられる野生および栽培イネ間差異</p> <p>534 石川智絵1・宍戸理恵子1・○野村和成1・渡辺慶一2・池橋宏1(1. 日大生物資源、2. 日大短大) 低利用植物資源の改良に伴う遺伝的多様性の調査、4. ハーブとして利用されるシソ科植物の調査とRAPDによる同定。</p> <p>535 ○大角信介1,2・川畑和弘3・中村郁郎4・佐藤洋一郎2(1. 岐阜大院連農、2. 静岡大、3. 滋賀県守山市教育委員会、4. 千葉大学) 葉緑体PS-Ⅱ配列をもとにした滋賀県守山市下之郷遺跡から出土した編み組製品の種同定</p>	<p>◆座長 遠藤さおり(日本製紙)</p> <p>632 ○藤郷誠1・古谷規行2・山岸紀子1・静岡幸明2・兼松誠司1・吉田泰二1・日高操1(1. 東北農研セ、2. 京都農研セ) パーティクルポンパートメント法によるダイズわい化ウイルス外被タンパク質遺伝子を導入したダイズ形質転換体の作出</p> <p>633 ○静岡幸明1・古谷規行1,2・小坂能尚1・日高操3(1. 京都農研セ、2. 現京都府農林水産部、3. 東北農研) ダイズモザイクウイルスの外被タンパク質遺伝子を導入した形質転換ダイズの抵抗性について</p> <p>634 ○Khalafalla, M. M., H. A. El-Shemy・R. S. Mizanur・石本政男(近中四農研) ダイズへの遺伝子銃による遺伝子導入条件の最適化</p> <p>635 ○石本政男1,2・H. A. El-Shemy1,2・M. M. Khalafalla1,2・R. S. Mizanur1,2・中本有美2・黒田昌治3・若狭暁2,4(1. 近中四農研、2. CREST, 3. 北陸研セ、4. 作物研) バイナリーベクターを使用したダイズおよびアズキ形質転換系の開発</p>	
<p>◆座長 米沢勝衛(京産大工)</p> <p>436 ○マギタ リナ・ヨツカ K.・スット R.・久島 繁1(1. 筑波大農生、2. タマサート大バイオテック) 試験管内交雑育種について: ソバを例に</p> <p>437 ○荒川誠1・武井由美子1・戸倉一泰1・箕田豊尚1・小指美奈子2・石井博和1・渡邊耕造1・矢ヶ崎健治1(1. 埼玉農総研、2. 川越農振セ) 良質・良食味の病害虫複合抵抗性水稲新品種「彩のかがやき」、「彩のきらびやか」の育成</p> <p>438 ○飯田修一1・春原嘉弘1・前田英郎1・松下景1・根本博2・石井卓朗3・吉田泰二4・中川宣興5・坂井真6・西尾剛7(1. 近中四農研、2. 作物研、3. 生物研、4. 東北農研、5. 元近中四農研、6. 青森農試藤阪支場、7. 東北大院農) 良食味の低アミロース低グルテリン水稲新品種「LGCソフト」の育成</p> <p>439 ○梶 亮太1・岡本正弘1・満淵律子1・田村克徳1・富松高治1・平林秀介2・深浦壮一3・八木忠之4・西村実5・山下浩1(1. 九冲農研、2. 作物研、3. 熊本農研、4. 中央農研、5. 生物研) 暖地向き良食味・多収水稲新品種「あきさやか」の育成</p>	<p>◆座長 大澤 良(筑波大農林)</p> <p>536 ○秋本正博1・渡邊明1・黒田洋輔2・一谷勝之3・P. Inthapanya4(1. 畜畜大、2. 京大東南アジア研、3. 鹿児島大農、4. 茨農農局) ラオスにおける野生イネ(<i>Oryza rufipogon</i>)の遺伝資源破壊について</p> <p>537 ○山中慎介1・中村郁郎2・佐藤洋一郎3・渡邊和男1(1. 筑波大生物科学・遺伝子実験センター、2. 千葉大自然科学、3. 静岡大農) 機能領域の多様性に基づく遺伝資源の評価1. 異物代謝型チトクロムP450遺伝子アナログの変異からみた野生イネの遺伝的多様性</p> <p>538 ○吉田健太郎1・石井尊生2・宮下直彦1(1. 京大院農、2. 神大院農) 野生稲(<i>Oryza rufipogon</i>)の二つのアルコール脱水素酵素遺伝子座領域(<i>Adh1</i>と<i>Adh2</i>)における塩基多型</p> <p>539 ○西川智太郎・門脇光一(生物研) オルガネラゲノムに存在するマイクロサテライトおよびその周辺配列決定に基づくイネ属の系統解析</p>	<p>◆座長 石本政男(近中四農研)</p> <p>636 ○遠藤さおり・杉田耕一・海老沼宏安(日本製紙(株)技術研) Hm-MATベクターによるMarker-free transgenic riceの作出</p> <p>637 ○Rachmawati, D., T. Hosaka, E. Inoue and H. Anzai (Gene Res. Ctr., Ibaraki U.) <i>Agrobacterium</i>-mediated transformation of Javanica rice variety Rojolele</p> <p>638 ○朴 炳振・菅野 明・亀谷 寿昭(東北大院生命科学) インゲンマメ発芽種子へのアグロバクテリウム法によるLEA 遺伝子の導入</p> <p>639 ○鳥谷千礼1・鈴木保宏2・平野博之3・井上栄一1・安西弘行1(1. 茨城大遺伝子、2. 農研機構・作物研、3. 東大院農学生命) ジャガイモ澱粉合成酵素遺伝子のイネ品種日本晴モチ変異体への導入</p>	
<p>◆座長 村井耕二(福井県大農)</p> <p>440 ○石井卓朗1・米澤勝衛2(1. 生物研、2. 京産大工) 他殖性植物の主要選抜方式の効率比較: ドミナンスが存在する場合</p> <p>441 ○関口文彦・佐藤祐子・望月里依子(日本女子大・理) サルビア園芸品種への香気性形質の増強に関する研究 I. 園芸品種の葉における精油細胞の大きさと分布数の品種間差異</p> <p>442 ○岡 正明・山内美春・今泉宜亮(宮教大) 三次元デジタルイザを用いたイネ3品種の個体葉配置の計測</p> <p>443 ○佐藤久実1・山内歌子2・矢野昌裕3(1. 山形農試庄内支場、2. STAFF研、3. 生物研) イネ胚乳のアミロース含有率を低下させる独自の遺伝子の分子生物学的解析</p>	<p>◆座長 石井尊生(神戸大農)</p> <p>540 ○田淵宏朗1・佐藤洋一郎2・芦川育夫1(1. 中央農研、2. 静岡大農) 日本の栽培稲におけるゲノムのモザイク構造</p> <p>541 上田綾子・関根智子・○宍戸理恵子・野村和成・池橋宏(日大生物資源) ミャンマーに自生する野生イネの多様性評価 1. 45S rRNA遺伝子座の変異について</p> <p>542 ○野澤樹1,2・佐藤洋一郎2(1. 岐大連農、2. 静岡大農) 日本産ヒエ属にみられるマイクロサテライト多型</p> <p>543 ○宇賀優作1,2・山本英樹3・福田善通2・大澤良4・藤村達人5(1. 筑波大農学、2. 国際イネ研、3. 東農大国際食料情報、4. 筑波大農林、5. 筑波大農林工) アジア栽培イネおよび近縁野生種の花器形態の変異</p>	<p>◆座長 若狭 暁(作物研)</p> <p>640 麻田恭一1・山岸 博2・坂本 亘3・○寺地 徹2(1. N'イカワジ 京都、2. 京産大工、3. 岡山大資生研) オグラ型ダイコンに由来するミトコンドリア雄性不稔遺伝子<i>orf138</i>を持つタバコ形質転換後代の解析</p> <p>641 ○高田圭太1・石丸健太郎2・南澤淳3・鎌田博4・江面浩5(1. 筑波大生命環境、2. 筑波大生物資源、3. 東北大生命科学、4. 筑波大生物、5. 筑波大農林) メロンの改変エチレン受容体遺伝子<i>Cm-ETR1/H69A</i>を導入した形質転換タバコにおける不稔機構の解析</p> <p>642 ○江面浩1・高田圭太2・鎌田博3(1. 筑波大農林、2. 筑波大生命環境、3. 筑波大生物) メロンの改変エチレン受容体遺伝子を導入した形質転換レタスの解析</p> <p>643 ○石丸健太郎1・高田圭太2・鎌田博3・江面浩4(1. 筑波大生物資源、2. 筑波大生命環境、3. 筑波大生物、4. 筑波大農林) エチレン受容体遺伝子を導入した不稔組換えタバコの温度変化に対する形質安定性の評価</p>	

2日目(4月3日) 午後			
4月3日	第1会場(教育学部 2111 教室)	第2会場(教育学部 2112 教室)	第3会場(総合校舎 F10 教室)
	◆座長 富田因則(鳥取大農)	◆座長 田中淳一(野菜茶研)	◆座長 村田 稔(岡山大農)
15:24	144 千田峰生(弘大遺伝子) 黄ダイズの種皮着色抑制はCHS 遺伝子のPTGSによって引き起こされる	244 ○白澤健太・岸谷幸枝・西尾剛(東北大院農) PRS法による日本型イネ品種の遺伝子多型の解析	344 ○星野洋一郎1, S. Scholten2, T. Marwedel2, M. Sauter2, H. Loerz2, E. Kranz2 (1. 北大北方生物園セ, 2. ハンブルク大) 単離したトウモロコシの卵細胞および接合子の発達過程における微小管、サイクリン依存性キナーゼおよびサイクリンの発現パターンとその局在の解析
15:36	145 ○葛西厚史1・赤田辰治1・石川隆二2・原田竹雄2・新聞稔2・千田峰生1 (1. 弘大遺伝子, 2. 弘大農学生命) 黄ダイズの種皮着色突然変異体におけるCHS 遺伝子領域の解析	245 ○佐藤 毅、竹内 徹(道立中央農試) イネゲノム塩基配列データを利用したイネいもち病抵抗性遺伝子Pii の座乗染色体の決定	345 ○野々村賢一・中野睦子1・村田和優2・永口貢1・宮尾安藝雄3・広近洋彦3・倉田のり1,4 (1. 遺伝研, 2. 富山農技セ, 3. 生物研, 4. 総研大生命科学) OsASY1 のイネ遺伝子破壊株では相同染色体対合が欠損する
15:48	146 ○金澤 章(北大院農) ベチュニアにおけるトランスジーンによってPTGSが誘導される組織に存在する低分子RNA	246 ○小池倫也、席田淳史(北海道グリーンバイオ) コムギSSRマーカーの開発 1. ゲノムからのSSRマーカーの単離	346 ○福田敏志1,2・野々村賢一2・永口貢2・宮尾安藝雄3・広近洋彦3・倉田のり1,2 (1. 総研大生命科学, 2. 遺伝研, 3. 生物研) イネ新規遺伝子PAIR1 の遺伝子破壊株では減数分裂が異常になる
16:00	◆座長 菅野 明(東北大院農)	◆座長 西 晃生(日本たばこ産業)	◆座長 星野洋一郎(北大北方生物園セ)
16:00	147 ○西井健一郎1・平林千鶴1・濱絵里子1・宅見薫雄2・山崎由紀子3・荻原保成4・村井耕二1 (1. 福井県大生物資源, 2. 神戸大農, 3. 遺伝研, 4. 横浜市大木原生研) コムギESTクローンに見出されたMADSボックス遺伝子ファミリーの機能的分類	247 ○Hu, J.1 and T. Fujimura2 (1. Doc. Deg. Prg. Agric. Sci., Univ. Tsukuba, 2. Inst. Agric. Eng., Unvi. Tsukuba) Preliminary analysis of database-derived microsatellites from <i>Ipomoea trifida</i> and the transferability of these markers for sweetpotato and its related diploid species	347 ○郎 亜琴1、柳川 諭史2、笹沼 恒男1、笹隈 哲夫1 (1. 横浜市大木原研, 2. (株)トキタ種苗) トウガラシの果実色およびカプサンチン-カプソルビン酵素合成遺伝子の遺伝分析
16:12	148 ○平林千鶴1・西井健一郎1・濱絵里子1・宅見薫雄2・荻原保成3・村井耕二1 (1. 福井県大生物資源, 2. 神戸大農, 3. 横浜市大木原生研) コムギクラスC MADSボックス遺伝子WAG2 の単離と解析	248 ○諏訪部圭太・布目司・大山暎男・福岡浩之(野菜茶研) <i>Brassica rapa</i> におけるマイクロサテライトの単離 III. 3塩基繰り返しSSRマーカーの開発とその特性	348 佐藤 耕1・若佐雄也2・工藤 剛1・新聞 稔2・原田竹雄2 (1. 青森県りんご試, 2. 弘前大農学生命) リンゴにおけるMd-ACS1遺伝子型と果実特性の関係
16:24	149 ○大岡久子1,2, 佐藤浩二2, 永田俊文2, 大友泰裕3, 松原謙一3, 村上和雄3, 大里直樹4, 河合純4, カルニンチ ピエロ4, 林崎良英4, 鈴木宏史5, 小島恵一5, 高原美規1, 菊池尚志2, 山元皓二1 (1. 長岡技科大, 2. 生物研, 3. 国際科学振興財団, 4. 理研, 5. 日立ソフト(株)) イネ完全長cDNAデータを用いたNACファミリーの比較解析	249 ○田中淳一・谷口郁也(野菜茶研(枕崎)) SSRマーカーを利用したチャの親子鑑定	349 ○若佐雄也1, 佐藤 耕2, 石川隆二1, 赤田辰治3, 千田峰生3, 新聞 稔1, 原田竹雄1 (1. 弘前大農学生命, 2. 青森県りんご試, 3. 弘前大遺伝子) 'ふじ'F1品種における果実軟化と成熟関連遺伝子発現の関係。
16:36	150 ○佐藤浩二1, 大岡久子1,2, 永田俊文1, 鈴木宏史3, 小島恵一3, 大里直樹4, 河合純4, カルニンチ・ピエロ4, 林崎良英4, 大友泰裕5, 村上和雄5, 松原謙一5, 菊池尚志1 (1. 生物研, 2. 長岡技大, 3. 日立ソフト(株), 4. 理研, 5. 国際科学振興財団) イネ完全長cDNAデータを用いたイネの2R型MYB proteinの網羅的な解析	250 ○中島純1, 布目司2, 諏訪部圭太2, 大山暎男2, 平井正志3 (1. 鹿児島農試, 2. 野菜茶研, 3. 京都府大院農) ピーマンにおけるマイクロサテライトの単離	

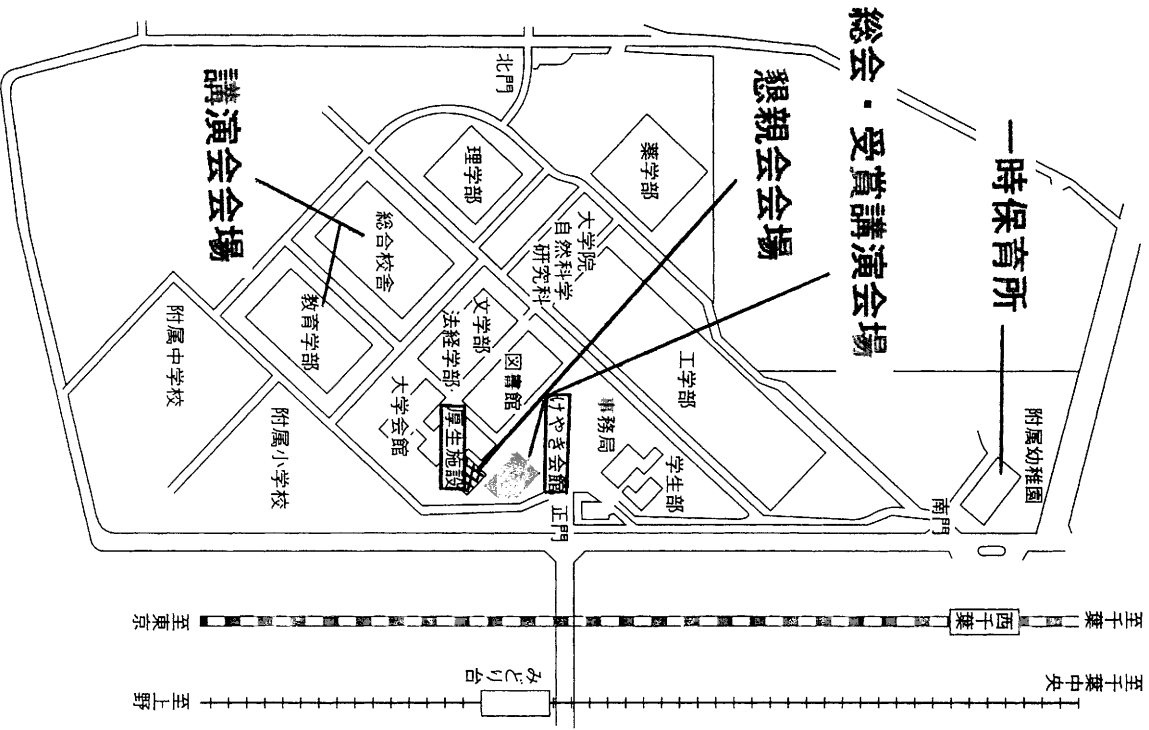
4月3日	総合校舎 F21 教室	総合校舎 F22 教室	総合校舎 F31 教室
17:00	グループ研究集会 I	グループ研究集会 II	グループ研究集会 III
↓	育種・遺伝資源研究を取り巻く世界的概況 世話人: 藤村達人、渡邊和男(筑波大) 田部井豊 (生物研)	第32回 生物進化・細胞育種懇話会 世話人: 藤垣 順三(東農大短大) 大田 正次(福井県大)	育種学と農学のこれからを考える XIII 世話人: 岩田 洋佳(中央農研)
19:00	話題 「遺伝子組換え体取り扱いの法制化と遺伝資源へのアクセスと利益配分」	話題提供 大田 正次(福井県大) 「コムギ近縁野生種の種内変異と地理的分布」	話題提供 矢野 昌裕(生物研) 「ポストゲノム時代のイネ育種」

2日目(4月3日) 午後					
第4会場(総合校舎 F20 教室)	第5会場(総合校舎 F31 教室)	第6会場(総合校舎 F21 教室)	4月3日		
<p>◆座長 関口文彦(日本女子大)</p> <p>444 ○境 哲文・河野雄飛・高田吉丈・島田信二(東北農研) 東北地域向け高イソフラボン含有ダイズ新品種「ふくいぶき」の育成</p> <p>445 ○高田吉丈・境 哲文・河野雄飛・島田信二(東北農研) 子葉色が緑色のダイズ新品種「青丸くん」の育成</p> <p>446 ○岡田吉弘・金谷良市・荒井正一・朝倉隆司・伊藤一敏(サッポロビール植工研) 大麦萎縮病抵抗性遺伝子$rym1$を導入したビール大麦系統の育成</p>	<p>◆座長 山岸 博(京産大工)</p> <p>544 ○木村鉄也1・池谷祐幸2・壽 和夫3・松田長生3・伴 義之1・林 建樹3・山本俊哉3(1. 種苗管理セ、2. 農研機構本部、3. 果樹研) ナシ葉緑体DNAの解析. II. $trnL-F$ 領域の塩基配列によるナシ品種のタイピング</p> <p>545 ○角谷直人1・青木誠志郎2・川床邦夫3・和久井健司4・伊藤元己2(1. 東農大総研、2. 東大院総合文化、3. たばこと塩の博物館、4. 東農大短大) $matK$ 遺伝子と葉緑体DNAの非コード領域塩基配列に基づくタバコ属植物(Noctiflorae 節)の系統分類</p> <p>546 ○王 克晶1・海妻矩彦1・島田信二2・渡辺正夫1・高畑義人1(1. 岩手大農、2. 東北農研) ツルマメにおけるKunitz型トリプシンインヒター-Tia と Tib タイプの中間型変異体</p>	<p>◆座長 江面 浩(筑波大農林)</p> <p>644 ○塚崎 光1・畠山勝徳1・春日美江2・篠崎和子2(1. 野菜茶研、2. 国際農研) DREB1A 導入コマツナにおける乾燥耐性および耐塩性の向上</p> <p>645 ○小松 晃1,3・川岸万紀子1,3・浅野雅智1・小林智子3・長谷川久和2・山田哲也3・大武美樹3・若狭 暁1,3(1. 作物研、2. 北興化学(株)、3. CREST) 抗生物質抵抗性遺伝子を持たない形質転換イネの作出と特性解析</p> <p>646 ○黒田昌治1・木水真由美1・三上周子1・小林明晴1・増村威宏2・田中国介2(1. 中央農研北陸研、2. 京都府大) アンチセンス法による低プロラミンイネの作出</p>	<p>◆座長 高田吉丈(東北農研)</p> <p>447 ○加藤紀夫・中林利彦・徳弘晃二・萩森学(J T 植物開発センター) デルフィニウム種間雑種を用いた黄花系品種の育成</p> <p>448 ○高橋宙之・大湯直樹・田口和憲・岡崎和之・田中征勝(北海道農研) テンサイそう根病抵抗性新品種「北海83号」の育成</p> <p>449 ○小林和幸1・中野良彦2・河合由起子1・松井崇晃1・重山博信1・石崎和彦1(1. 新潟農総研・作物研、2. 長岡技科大) 簡易・迅速精米法を利用した酒造特性評価による雑種集団の個体選抜</p> <p>450 ○大林憲吾・小村国則(長崎県総農試) DNA マーカーを用いたジャガイモストセンチュウ及びジャガイモ Y ウイルス抵抗性個体の選抜</p>	<p>◆座長 高畑義人(岩手大農)</p> <p>547 ○本多裕樹・伊藤哲平・大嶋貞智・山岸 博(京都産大工) 日本のダイコンの起源と分化. III. ミトコンドリア $atp6$ 遺伝子領域における塩基配列多型</p> <p>548 ○山岸 博・佐々木淳子(京都産大工) 日本のダイコンの起源と分化. IV. ハマダイコンは栽培ダイコンが野生化したものではない</p> <p>549 大嶋貞智・○大迫敬敏・寺地 徹・山岸 博(京都産大工) $Raphanus$ 及び $B Brassica$ 属におけるミトコンドリア $coxI$ 遺伝子領域の変異(まとめ)</p> <p>550 山岸 博・○尾崎昭子・大嶋貞智(京都産大工) 栽培・野生ダイコンにおける葉緑体 $trnF$ 遺伝子周辺領域の塩基配列の変異</p>	<p>◆座長 小松 晃(作物研)</p> <p>647 ○辻孝子1・柏原洋司2・福田至朗1・神戸三智雄1・井澤敏彦3・山根精一郎2(1. 愛知農総試、2. 日本モンサント、3. 愛知農総試安城) 遺伝子組換え除草剤耐性イネ系統の形態及び生育特性評価</p> <p>648 辻孝子1・○井澤敏彦2・柏原洋司3・加藤恭宏1・山根精一郎3(1. 愛知農総試、2. 愛知農総試安城、3. 日本モンサント) 遺伝子組換え除草剤耐性イネ系統の環境安全性評価</p> <p>649 ○田原勇作1・山中慎介2・乾秀之3・大川秀郎3・渡邊和男2(1. 筑波大院生命環境、2. 筑波大遺伝子、3. 神戸大遺伝子) ほ乳類由来チトクロムP450遺伝子を導入したジャガイモ組換え体の除草剤耐性の表現型変異</p> <p>650 ○渡邊和男1・中 寛2・渡邊純子1(1. 筑波大遺伝子、2. (株)中電気) サツマイモにおける遺伝子型非特異的組換え体の作出と評価</p>

総合校舎 F32 教室	総合校舎 F41 教室	総合校舎 F42 教室	総合校舎 F51 教室	4月3日
<p>グループ研究集会 IV</p> <p>新しい「農の世界」を探る II, その9 世話人: 高木 俊江(東大農)</p> <p>話題提供 中川原俊雄 (財)自然農法国際研究開発センター)</p> <p>「自然農法による育種」 -作物の生活力を高める-</p>	<p>グループ研究集会 V</p> <p>DNA品種鑑別検討会 世話人: 原田 久也(千葉大園芸) : 矢野 博(近中四農研)</p> <p>話題提供 丸山 恵史 (農水省生産局種苗課)</p> <p>「植物のDNA品種鑑別についての基本的留意事項 -技術開発と利用のガイドライン-」のとりまとめについて</p>	<p>グループ研究集会 VI</p> <p>受粉生物学の育種への展開(第3回) 世話人: 大澤 良(筑波大農林)</p> <p>話題提供 星野 博(タキイ種苗) 「自家不和合性を利用したアブラナ科 F1 育種の課題」-採種性に影響する花粉の量と能力について-</p> <p>話題提供 小島 昭夫(野菜茶試) 「ネギ類の採種に関する諸問題」</p>	<p>グループ研究集会 VII</p> <p>第16回 花卉の細胞育種研究会 世話人: 國武 久登(宮崎大農) 神戸 敏成 (富山中央植物園) 加藤淳太郎(愛教大)</p> <p>話題提供 星野洋一郎 (北大北方生物圏セ)</p> <p>「試験管内受精研究の最近の話題」 -ハンブルク大学での研究から-</p>	<p>17:00</p> <p>↓</p> <p>19:00</p>



[会場案内図]



[総合校舎案内図]

